

6つのタスクフォースの取組み状況

長野県産業イノベーション推進本部 事務局（産業労働部）

Taskforce、事業名、めざすもの	取組状況	期待する効果と時期（意見も）	主な部局間連携（■=主导部）	備考（今後の検討案）
〈健康づくり産業振興 taskforce〉 ■「健康」×「観光」×「食品」の 先導的モデルづくり	○健康×観光 ・研究会での検討 ・次世代ヘルスケア産業協議会（仮称）における実証事業の実施 ・年間100億円市場	効果期待時期 短期 中長期 未来 ○当面は、協議会の設置	■産業労働部（産業政策課） □観光部 □健康福祉部 □林務部	具体的な効果までには時間がかかると思われる 早期の事業効果が期待できる
	○健康×食品 ・しあわせ信州食品開発センター ・しあわせ信州食品産業応援隊（仮称）設立 ・新食品試作開発50件/年など	効果期待時期 短期 中長期 未来 ○来年度は、具体的な試作品の登場が期待できる	■産業労働部（産業政策課） □農政部 □健康福祉部	
〈医療・福祉機器産業振興 taskforce〉 ■医療・福祉機器産業を 将来のリーディング 産業に育成する	○開発支援 ・県の支援制度（6社） ○医療メーカーとの連携 ・マッチング交流会（2月：30社、9月：20社） ○実証支援 ・佐久地域、松本地域	効果期待時期 短期 中長期 未来 ○特に医療機器への参入は、医療現場との信頼関係を構築する必要があり、大きなビジネス化には時間がかかると考えるが、意欲的な試みが広がっている。	■産業労働部（ものづくり振興課） □健康福祉部 （→信州ACEプロジェクトなど） （→意欲ある民間企業や医師などとの連携が重要。意欲的な企業を応援し突破口を開く。）	第1群 ○早期の事業効果が期待できる。 ○関係部局には、予算、人員面での特段の配慮をお願いしたい。 （→事業実現確保のため）
〈環境・エネルギー産業振興 taskforce〉 ■気候変動に伴う被害を 抑える技術・製品・ サービス ~信州から先んじて創出し、国内外に提供していく~	○信州気候変動モニタリングネットワーク ・これまでの準備検討会を踏まえ、11月設立 ○文部科学省のDIASとの連携 ・国内外の気象観測のデータベース（DIAS）との共同利用が可能となった ○キックオフシンポジウムの開催（11月）	効果期待時期 短期 中長期 未来 ○とても大きな課題に挑戦している。 ○県民の方々にも理解できるような、短期、中長期的な課題も含めて対応してはどうか（提案）。	■環境部（環境エネルギー課） □農政部 （→温暖化に対応した農産物対策） □危機管理部 （→豪雨災害対策） □林務部 □建設部	
〈6次産業化 taskforce〉 ■信州の強みを活かし 支える異業種間連携を 目指して ・6次産業化による付加価値を加え、「儲かる長野県農業」を創る	○6つの具体的な事業が動いている ①地元食材を利用した健康食 ②地元ファンドを活用したファイナリーづくり ③信州産そば加工品（大学） ④誘致企業と連携した6次産業化 ⑤県内進出企業とタイアップした粟の産地化 ⑥大手パンメーカーと連携した事業	効果期待時期 短期 中長期 未来 ○具体的な事業が複数進んでいる。 （まずは、成功事例を創る） ○将来的には、成功事例を他の地域や分野に波及させることも考えて欲しい。	■農政部（農産物マーケティング室） ①産業労働部、健康福祉部 ②観光部 ③観光部 ④産業労働部 ⑤産業労働部 ⑥観光部 □産業労働部+農政部 （→県産食品の輸出強化策の検討）	第2群 ○具体的な事業効果までには多少の時間がかかるものとする。 ○事業推進のスピードや見直しなどを含めて、磨き上げる。
〈山岳高原を活かした国際観光地づくり taskforce〉 ■「NAGANOモビリティ （仮称）」の構築と普及 ~アクティビティを楽しみながら県内を移動する新しい旅を~ ・サイクリングなどを楽しみながら県内を移動する新しい旅を提案し、観光産業を活性化させる。	○3年後（H29）の「自然アクティビティの聖地」実現に向けて取組を進めている ・ルートづくり （研究会、試行ルート開発、モニターツアー） ・シンポジウムの開催（H27.2月）	効果期待時期 短期 中長期 未来 ○H29に向かって、具体的な取組が進んでいる。 ○市町村や関係団体との一層の連携・役割分担が必要と考える。	■観光部（山岳高原観光課） □建設部など	
〈ICT地域振興 taskforce〉 ■ICT利活用による 地域振興に資する 新たなビジネスモデル の構築	○新しいビジネスモデルとして、2事業を構築中 ①G空間社会における山岳遭難防止対策モデル ②地域課題を解決するICT利活用モデル ・スマートペイメント ・Wi-Fi環境の整備 ・防災関係オープンデータの提供	効果期待時期 短期 中長期 未来 ○具体的な取組が進んでいる ○ICT利活用モデルについては、優先順位をつけて実施してはどうか。	■企画振興部（情報政策課） ①危機管理部、観光部 ② スマート=産業労働部、観光部 Wi-Fi = 産業労働部、観光部 オープン=公共データ提供部局	
全体を通じて		○スピード感 ○先進性 ○具体性（県民の方々も理解できる具体的な成果）	○より一層の部局間連携をお願いしたい。 ○部局間連携+産学官金の連携	〈Bグループ（第2群）候補事業〉 ・「県産食品の輸出強化策の検討」 ・「アクア・イノベーション事業（特区）」 ・「航空宇宙産業事業（特区）」 ・「F・POWER事業」など